



安城文化

発行: 安城文化協会 ☎446-0041 安城市桜町17番11号(へきしんギャラクシープラザ内) ☎・FAX 0566(74)6066
✉ info@anjo-bunka.org 🌐 https://anjo-bunka.org



「天馬行空」

安城文化協会

会長 神谷 恒行



新年明けましておめでとうございます

「天馬行空」―天馬は、天

上界の天帝が乗るとされる空

を駆けることのできる馬。空

を天馬が駆ける様子から、考

え方や行動が自由奔放で何も

のにもとらわれない、また、

詩文や書の筆遣いに勢いがある

さまなどを表現する言葉で

す。(出典 劉廷振「薩天錫

詩集序」) 私たち安城文化協

会も、そうありがたいものです。

色紙「天翔ける馬」を掲載

させて頂きました。が、実

は、ギリシャ神話に登場する

ペガサスも天馬と呼ばれ、翼

を持っています。一方、東洋

の神話や伝説に登場する天馬

は必ずしも翼を持っているわ

けではありません。例えば、

日本の聖徳太子が乗っていた

とされる天馬は、翼が無かつ

たにもかかわらず空を飛ぶこ

とが出来たと伝えられています。

その能力は、神的能力や

霊的なものと考えられている

のでしょうか。国宝『聖徳太子

絵伝』には「富士山を飛び越

える太子と愛馬・黒駒」が描

かれています。国宝になっ

ているくらいですから、本当に

飛べたのでしょうか(笑)。因みに、私は翼を描き込みましたが、翼なくして飛んでいる馬を描くことは出来ないという、単に能力的な問題からです(笑)。

さて、本年は、安城文協にとって記念すべき創立八十周年を迎えます。そのために記念事業実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。何か面白いアイデアなどありましたら是非お聞かせください。周年事業が、広く安城市民の記憶に残り、成功裏に終わられますよう、会員の皆様の絶大なご支援、ご協力をお願いいたします。

新年のさわやかな空に、どこまでも高らかに舞い上がる天馬のように、安城文協が、未来に向けて大きく羽ばたいていけることを祈念して、新年の挨拶といたします。



2026

文協春まつり

2月13日(金)～15日(日)／へきしんギャラクシープラザ（安城市文化センター）
皆さんのお越しをお待ちしております

◆文化協会選抜展◆

- 期日・時間
13日(金)・14日(土) 9時～17時
15日(日) 9時～16時
- 場所 大会議室（3階）
- 安城文化協会所属の作家の中から、運営委員会により推薦された方々の作品を展示します。
- 芸能等からの応援ライブを予定
14日(土)午前10時30分～箏曲
15日(日)午前10時30分～篠アンサンブル
午後2時～ジャズ

◆ごあ展◆

- 期日・時間
13日(金)・14日(土) 9時～17時
15日(日) 9時～16時
- 場所 展示室2（3階）
- 安城文化協会幹事、事務局職員らの作品を展示します。
- 14日(土)はお抹茶サービス、15日(日)はコーヒーサービスがあります。

◆文化講演会◆

- 期日・時間
14日(土) 14時～15時30分
- 場所 講座室（1階）
- 演題「先達に導かれ、歩み続けた書家の道」
- 講師 横山 夕葉 氏

あけましておめでとうございます

監事	井上俊一	加藤浩明	加藤りせ子	石川清幸	小山要子	稲垣英夫	丸山今朝三	相談役 佐野豊麗	石川良一	顧問 三星元人	杉山幸史	永井江美子	副会長 近藤義行	会長 神谷恒行
----	------	------	-------	------	------	------	-------	----------	------	---------	------	-------	----------	---------

吉田小夜子	牧久	伊奈治	中村誠一	待田和宏	竹内紫燕	神谷芳翠	山下祥石	清水均	矢田力三	石田靖浩	内藤華岳	理事 香村愛子	監事 横山夕葉
-------	----	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	---------	---------

事務局長 石川充	副幹事長 三浦久義	幹事長 峯村敏	朝岡一秀	山本久子	谷崎正憲	杉浦和子	春日井彩由美	長澤さつき	沓名純子	木村恭子	理事 山本昌子
----------	-----------	---------	------	------	------	------	--------	-------	------	------	---------



おめでとうございます

◆第82回安美展

○グリーンリボン賞

・工芸・彫刻 嶋田 隆（安城）

○特別賞

・洋画 石川 清幸（安城）

・書 黒柳 景光（安城）

○部門大賞

・日本画 鳥居由花子（安城）

・洋画 清水 均（安城）

・書 近藤 華舟（安城）

・写真 岡川 経康（刈谷）

・工芸・彫刻 川上 堯由（知多）

安美展受賞者の喜びの声 (文協会員)

中部絵画サークル 清水 均

この度は歴史ある安美展におきまして、洋画部門大賞（愛知県知事賞）をいただき大変光栄に存じます。心から御礼申し上げます。これも長年ご指導いただきました中部絵画サークルの皆様方ほか関係各位のおかげと感謝申し上げます。



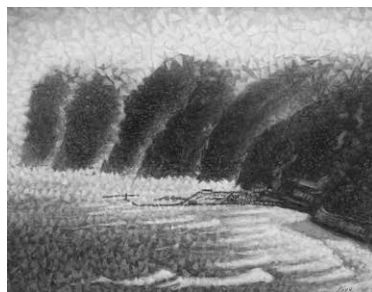
絵のモチーフは、直江津駅構内です。この駅は今では珍しくなった旧国鉄時代の雰囲気を残しており、私の好きな駅であります。タイトルの「始発」は、これからの世の中がより良い方向に向かえばとの思いを込めたつもりです。出来るだけ冬の朝の臨場感を出せるよう心がけました。これからも絵を楽しみながら、良い絵が描けるように努力していきたいと思

います。今後ともご指導ご鞭撻賜りたくお願い申し上げます。

磊雅会 石川 清幸

今回は思いもよらず、安美展特別賞（洋画部門）を賜り、有難く感謝申し上げます。

平成元年にグリーンリボン賞を頂いたころから委嘱～受賞作家（審査対象外）となるも、出品は欠かさず継続してきました。モチーフもヨーロッパから日本の景色に軸足は移しつつ、今般、特別賞の吉報が舞い込んできました。



受賞作「礼文の風」（油彩、F50）は、日本海の荒波に敢然と立ち向かう礼文島の岬を題材とし、単純な構図ではありますが“山・霧・風”の表現方法を模索しました。中でも霧の表現に、かなり乱暴ですがナイフを多用し鋭い三角形を敷き詰めることにより、今までにない緊張感を表現しました。

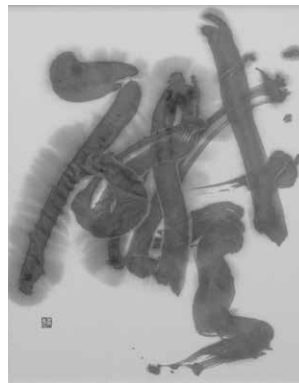
受賞は、偶然性でも必然性でもなく日ごろの継続性であり、感謝しかありません。

夕照会 黒柳 景光

今回の作品を書くとき、基本に戻り、素直な気持ちで書けたらと「物事の土台」「基礎となる大事な物事」という意味の「礎」を選びました。

気持ちを込めて勢いよく書くことも必要ですが、日々お稽古している古典の臨書から学んだ基本の形を崩さないことも大事です。書

に限らず、何事も基礎がしっかりしていないと崩れてしまいます。



基本に戻り、新たな気持ちで書いてみました。何枚も書くうちに上手に書こうと欲が出て、形が崩れることもありましたが、言葉を選んだときの気持ちを大切に書きました。そして特別賞をいただくことができ、とてもうれしいです。ありがとうございます。今後ご指導、よろしくお願いいたします。

会と催し

一文協後援のものー

◎市民公募文化事業 描破～空白に描くステッチ～

1月21日(水)～25日(日) 市民ギャラリー

◎華道家元池坊いけばな池坊展

2月20日(金)～23日(月) アンフォーレ

◎第32回水曜グループ展(美術教室わかいめ会)

2月24日(火)～3月1日(日) 市民ギャラリー

◎第28回八彩会展

3月5日(木)～8日(日) 市民ギャラリー

◎装道木村会きものショー

3月7日(土)～8日(日) デンパーク

◎市民公募文化事業 第38回竹友会民謡と和太鼓発表会

3月8日(日) 市民会館サルビアホール

◎箏曲演奏会(こやま会)

4月19日(日) へきしんギャラクシープラザ

◎第38回琴伝流大正琴発表会(碧美会)

4月19日(日) 碧南市芸術文化ホール

各グループの動向

退会

エル・フローラ

ギ

ャ

ラ

リ

ー

日展等で入選された本協会の作品です。

日展名古屋展は、1月28日から2月15日まで
愛知県美術館ギャラリーで開かれます。



神谷 恒行

日本画《或る戯れ絵師の人生》



平松 弘子

工芸美術《朝朗け》



加藤 伴子

工芸美術《喜びの時》



神谷 采邑

書《書簡》



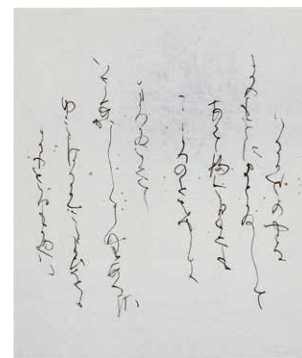
福田 博芳

書《李白詩》



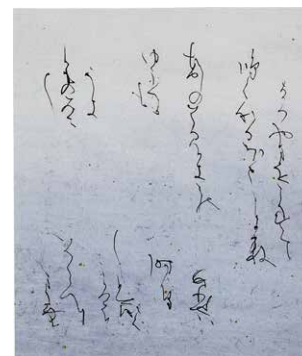
神谷 光園

書《吟風》



大崎 水愁

書《山里の四季》作品部分



リレー随筆

昨年の夏、聞き飽きる程の猛暑日の中で、転職した仕事は、屋外の駐輪場の管理人で経験の無い夏との闘いでした。それも、真昼の十二時からの仕事なので、家から出た途端、日差しは痛くて眩しくて、爺さんの自分には恥ずかしいながらも、日傘デビューし、店員さんにUVクリームを選んで貰い、使い方も御指南してもらいました。

職場に行けば、帽子は被れど、日差しと地面の照り返しとの闘いは、想像以上の状況でした。特に、地面の照り返しはすさまじい暑さです。

仕事(巡回)を始める時、一時間位は汗が流れますが、それを越えると流れません。身体が暑さの限界を超えると、体温調整が出来なくなりまして。以前、警備員の方が言っていたのを思い出しました。

二か月半の猛暑との闘いでしたが、屋外での仕事で、四キロ痩せて、良いこともありまして。しかし、自分には屋外の仕事は無理だと思い知らされました。

とにかく、初物デビューの夏物語でしたが、うちのエアコン「今年大丈夫か。」M・M